



地頭方地区でのワークショップの様子

市の5年後、10年後をどのようにするのか。

市民の皆さん自身が、自分の仕事や社会活動、あるいは地域活動など、あらゆる分野で、市の発展や地域の未来のため、積極的に意見を提案し、主体となって取り組んでいただきたいと考えています。

そのために、市ではまちづくりの基本となる総合計画の見直しに伴い、市内の150の団体から500人を超える市民の皆さんに参加していただき、「住みたいまちの姿」、「現状、課題」、「解決に向けてできること」などについて、意見交換を行っていたと考えています。

商工業、農業、観光業の皆さん、福祉や子育て団体などの皆さんが集まって、ワークショップ形式で議論を行い、率直な意見や優れた提案などを出してくれています。今後11月以降に、市民の皆さんから提出された意見を踏まえて、市民協議会を開催し、平成27年には、新たなまちづくりの指針となる新総合計画をスタートさせる予定です。

原発に代わる低コストの代替エネルギーは何か。

現在、最も導入が進んでい

るのは太陽光発電です。昨年7月から、固定価格買い取り制度が始まって、太陽光発電がどんどん増えていきます。しかし、同じ制度を導入しているドイツでは、太陽光発電が普及し過ぎたため、電気が上がり、問題となっているのが実情です。何かのエネルギーに過度に偏重するのではなく、太陽光、これから飛躍的に伸びる洋上風力や波力、さらにはバイオマスなど、多様なエネルギーをバランスよく活用することが最適であると考えます。さまざまな課題はありますが、電気料金をできるだけ抑制する仕組みは実現可能だと思いますので、再生可能エネルギーの導入、拡大などに積極的に取り組んでいきたいと考えています。

一方、短期的、速やかに原発に代わる安定的な電力を賄うためには、最新鋭の石炭火力発電や高効率のLNG火力発電が必要不可欠です。これらにより、排出される二酸化炭素を少なくしながら、安価で安定した電気を供給することが最善ですので、こうした発電所を御前崎港周辺にも設置することができるよう、関係方面に提案しています。

市民と共に、牧之原市をつくる

みんなで作ろう 市民トークが開催されました

「みんなで作ろう 市民トーク」が、市内10会場で開催され、853人の皆さんが参加しました。トークでは、市長や市職員が、地震津波対策やエネルギーとまちづくりなどについて説明するとともに、地区が希望した市政内容やワークショップを通じた質問や意見などにお答えしました。会場でもいただいた質問や意見の中から主な内容をお知らせします。

問い合わせ 秘書広報課 西川 ☎0052

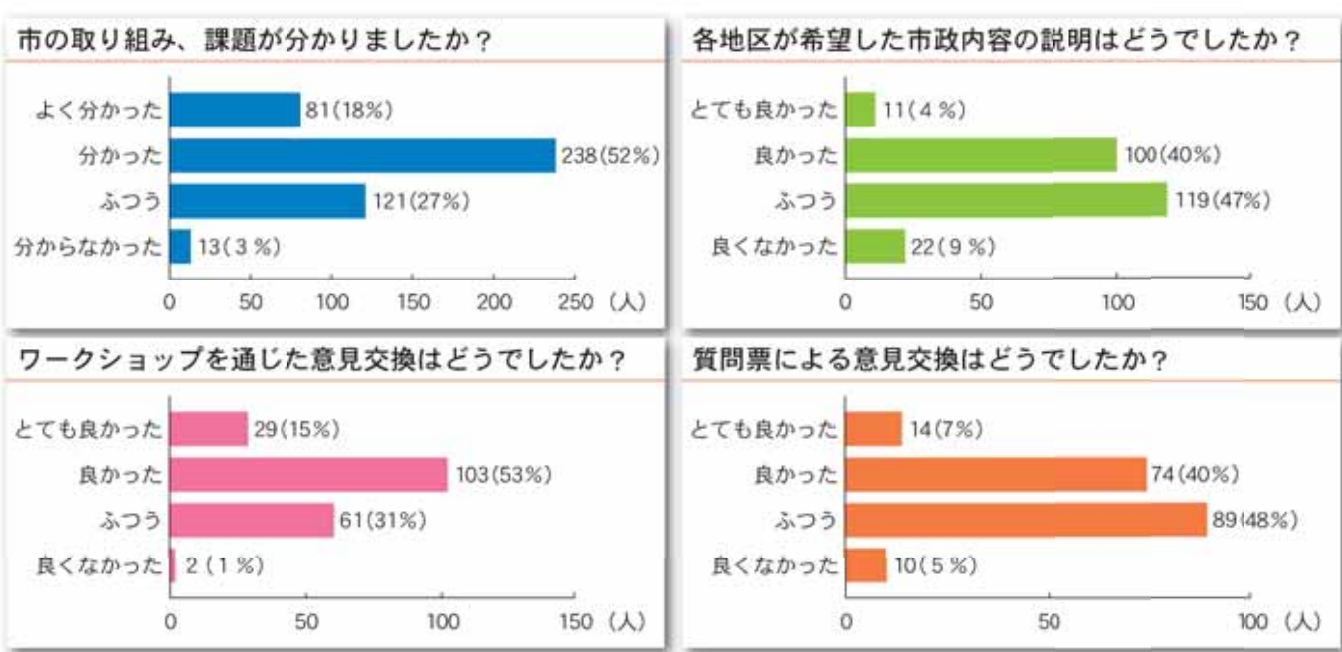
避難路の整備、防潮堤のかさ上げについて教えてほしい。

避難路の整備や防潮堤のかさ上げには、たくさんのお金が必要です。市のお金だけではなく、国や県などの支援を受け、整備を進めていきます。県が第4次地震被害想定を発表しました。第1次地震被害想定が発表されてから、2次想定、3次想定に基づいて、30年以上かけて防災施設を整備してきたことを考えますと、新たな対策が完成するまでには、かなりの時間が必要となります。

このため、地域では常に防災訓練を行い、地震や津波への対応力や防災意識の向上によって、被害の大幅な軽減を図らなければなりません。避難路なども立派なものを造りたいのですが、一昨年、地域の皆さんが一刻も早く、急いで造った避難路は、十分に役立つものではありません。市民の皆さんと共に、さまざまな対策を検討しながら、迅速に取り組んでいくことが大切だと考えています。

一方、防潮堤や沿岸部の国道のかさ上げなどは、長い時間がかかって、しっかりとした整備を行うことが重要だと考えています。

◆みんなで作ろう市民トーク アンケート結果 *端数処理により合計が合わない場合があります。今後の取り組みに活用するため、会場でアンケート調査を実施しました。



市内10の小学校区を単位とした「地区自治推進協議会」ごとに会場を設けました。会場では、地区が希望した市政内容、ワークショップを通じた質問や意見などに回答しました。

◆各会場データ（地区が希望した市政内容・質問や意見、参加人数など）

対象地区	実施日	会場	地区が希望した市政内容・質問や意見（主なもの）	参加人数
片浜	6月25日(日)	片浜コミュニティ防災センター	▶茶業振興とお茶に代わる農作物▶高台に登る避難路の整備	42人
牧之原	28日(金)	牧之原コミュニティセンター	▶牧之原地区への消防署の設置▶相良牧之原インターチェンジ周辺の開発	53人
地頭方	7月4日(日)	トーク地頭方	▶津波対策としての高台移転の促進▶消防団員の確保	77人
川崎	5日(金)	榑原文化センター	▶都市計画道路の事業化▶行政区画（区・町内会境）の見直し	119人
相良	9日(日)	史料館	▶津波防災まちづくり計画▶津波時の要援護者の対応	118人
萩間	12日(金)	萩間公民館	▶スズキ株式会社相良工場▶消防救急広域化における萩間地区の消防救急体制	82人
勝間田	17日(水)	勝間田会館	▶安定ヨウ素剤の配置▶避難地、避難所の整備	120人
菅山	19日(金)	菅山農業就業改善センター	▶病院経営の実情と市民の健康増進策▶市民体育祭の開催	84人
細江	22日(日)	細江コミュニティセンター	▶まま山公園グラウンドゴルフ場の使用料金▶静波体育館および細江コミュニティセンター体育室の使用料金	93人
坂部	24日(金)	坂部区民センター	▶空港隣接整備事業の推進▶お茶の消費拡大	65人
計				853人

各会場の会議録は、ホームページや両庁舎の情報公開コーナーで閲覧できます。 <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp>